

旅館・ホテル営業施設基準

客室の構造設備	<ul style="list-style-type: none"> ・一客室の床面積は、7平方メートル（寝台を置く客室にあつては、9平方メートル）以上であること。（政令1-1） ・客室の外部から客室の内部を監視し、又はのぞくことができる設備（換気又は採光のための窓その他の設備を除く。）が設けられていないこと。（条例2-2）
玄関帳場等	<p>宿泊しようとする者との面接に適する玄関帳場その他当該者の確認を適切に行うための設備として厚生労働省令で定める基準に適合するものを有すること。（政令1-2）</p> <p>厚生労働省令で定める基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生したときその他の緊急時における迅速な対応を可能とする設備を備えていること。 ・宿泊者名簿の正確な記載、宿泊者との間の客室の鍵の適切な受渡し及び宿泊者以外の出入りの状況の確認を可能とする設備を備えていること。
入浴設備	当該施設に近接して公衆浴場がある等入浴に支障を来さないと認められる場合を除き、宿泊者の需要を満たすことができる適当な規模の入浴設備を有すること。（政令1-4）
洗面設備	宿泊者の需要を満たすことができる適当な規模の洗面設備を有すること。（政令1-5）
便所	<ul style="list-style-type: none"> ・適当な数の便所を有すること。（政令1-6） ・共同用の便所には、男子用及び女子用の区分があること。（条例2-4）
暖房設備	当該施設の規模に応じた適当な暖房の設備を有すること。（条例2-3）
調理室	当該施設に近接して飲食店がある等飲食に支障を来さないと認められる場合を除き、適当な規模の調理室を有すること。（条例2-5）
寝具保管設備	客室の定員以上の数の寝具を備え、かつ、当該寝具の保管に適した設備を有すること。（条例2-6）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・適当な換気、採光、照明、防湿及び排水の設備を有すること。（政令1-3） ・その設置場所が法第三条第三項各号に掲げる施設の敷地（これらの用に供するものと決定した土地を含む。）の周囲おおむね100メートルの区域内にある場合には、当該施設から客室又は客の接待をして客に遊興若しくは飲食をさせるホール若しくは客に射幸心をそそるおそれがある遊技をさせるホールその他の設備の内部を見通すことを遮ることができる設備を有すること。（政令1-7） ・施設の外壁及び屋根は、その形態、意匠等が善良の風俗を害するものでないこと。（条例2-1）

簡易宿所営業施設基準

客室の構造設備	<ul style="list-style-type: none"> ・客室の延床面積は、33 平方メートル（宿泊者の数を 10 人未満とする場合には、3.3 平方メートルに当該宿泊者の数を乗じて得た面積）以上であること。（政令 2-1） ・階層式寝台を有する場合には、上段と下段の間隔は、おおむね一メートル以上であること。（政令 2-2） ・多数人で共用する構造又は設備を有しない客室にあっては、外部からその内部を監視し、又はのぞくことができる設備（換気又は採光のための窓その他の設備を除く。）が設けられていないこと。（条例 3-2）
玄関帳場等	事故が発生したときその他の緊急時における迅速な対応並びに宿泊者名簿の正確な記載及び宿泊者との間の鍵の適切な受渡しを可能とする設備を有すること。（条例 3-3）
入浴設備	当該施設に近接して公衆浴場がある等入浴に支障をきたさないと認められる場合を除き、宿泊者の需要を満たすことができる規模の入浴設備を有すること。（政令 2-4）
洗面設備	宿泊者の需要を満たすことができる適当な規模の洗面設備を有すること。（政令 2-5）
便所	適当な数の便所を有すること。（政令 2-6）
暖房設備	当該施設の規模に応じた適当な暖房設備を有すること。（条例 3-4）
調理室	当該施設に近接して飲食店がある等飲食に支障を来さないと認められる場合を除き、適当な規模の調理室を有すること。（条例 3-5）
寝具保管設備	客室の定員以上の数の寝具を備え、かつ、当該寝具の保管に適した設備を有すること。（条例 3-6）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・適当な換気、採光、照明、防湿及び排水の設備を有すること。（政令 2-3） ・施設の外壁及び屋根は、その形態、意匠等が善良の風俗を害するものでないこと。（条例 3-1）